

福ヶアハウス信愛館

信愛館周辺は、すっかり秋の風景に。この夏は雨の日も多く天候不順で、蝉の鳴き声からあつと言う間に虫の鳴き声に変わりましました。入居者皆様は散歩好き。健脚の方は遠くまで足を伸ばし、この近江八幡の素晴らしい風景を楽しまれています。

◆九月一日(金)「現代舞踊内海流」・花みずき会・の皆様にご集まりで踊りを披露していただきました。着流し姿や華やかな衣装で演歌に合わせ踊られ、入居者の中には聞き覚えのある歌と一緒に口ずさむ方も。そして最後は出演者全員で江洲音頭。最初は席の間を縫いながら、最後は輪になっての踊りに、まるで盆踊りに参加しているような気分も味わうことができました。

◆九月四日(月)の誕生会では林美代様、中西信子様以上二名の方の誕生日を祝いました。

この日林さんは百歳の誕生日を迎えられ、「ハッ



ピーバースデー」の歌声もひときわ大きく入居者全員で祝福しました。信愛館創設以来初めての「百寿」のお祝いでした。ご自分の足で歩かれ、耳もよく聞こえ、普段の食事時も他の入居者との会話も弾み、生き生きと過ごされています。この日のメニューは、林さんの出身地にちなみ、厨房で丹後地方の名物「ぼら寿司」を特別に作っていただきました。故郷を思いながら、味わっていただけただけでしょう。このままいつまでも信愛館で、日々重ねて生活していただけることを願っています。

◆九月九日(土)「敬老会」を行いました。以前にもお越しいただいた松島信子様、他二名の方をお招きし、音楽会を開催しました。まず「赤とんぼ」「七つの子」の

合唱から始まり、リーダー、よし笛の演奏、次にフルートにリードしていただき全員で「瀬戸の花嫁」「見上げてごらん夜の星を」歌いました。そし



てピアノ演奏を鑑賞し、最後に「いつくしみ深き」等讃美歌をフルートと共に賛美しました。入居者皆様の中には、懐かしい歌の数々に、涙を流しながら聞かれている方もあり、敬老の日にならぬ音楽会となりました。

◆九月十三日(水)西陣美術織「伊藤若冲動植綵絵全三十図展」が白雲館で展示されており鑑賞しました。その後シャワー水ヶ浜でティータイムを楽しみました。